シュローダー・グローバル・リート ＥＳＧフォーカス・ファンド (資産成長型)

第６期　運用報告書(全体版)

（決算日　2026年９月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・ファンド（資産成長型）」は、2026年９月24日に第６期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ　クラスＩ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ　クラスＩ投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年９月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案し決定します。 なお、分配を行わない場合があります。	

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社
東京都千代田区大手町二丁目６番４号
http://www.schroders.co.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

・投資信託営業部　電話番号　03-5293-1323
・受　付　時　間　9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
２期(2022年９月20日)	10,851	0	4.1	98.4	13,940
３期(2023年９月20日)	10,679	0	△ 1.6	98.1	14,050
４期(2024年９月20日)	12,502	0	17.1	98.3	12,457
５期(2025年９月22日)	12,569	0	0.5	98.8	10,167
６期(2026年９月24日)	14,437	0	14.9	97.9	9,491

（注）基準価額、税込み分配金は１万口当たり。
（注）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
（期　首）	円	%	%
2025年９月22日	12,569	－	98.8
９月末	12,628	0.5	98.1
10月末	12,976	3.2	98.8
11月末	13,345	6.2	99.0
12月末	13,313	5.9	98.5
2026年１月末	13,489	7.3	99.1
２月末	14,789	17.7	99.1
３月末	13,813	9.9	97.9
４月末	14,968	19.1	99.1
５月末	14,960	19.0	99.2
６月末	15,717	25.0	98.9
７月末	15,796	25.7	98.6
８月末	15,300	21.7	99.2
（期　末）			
2026年９月24日	14,437	14.9	97.9

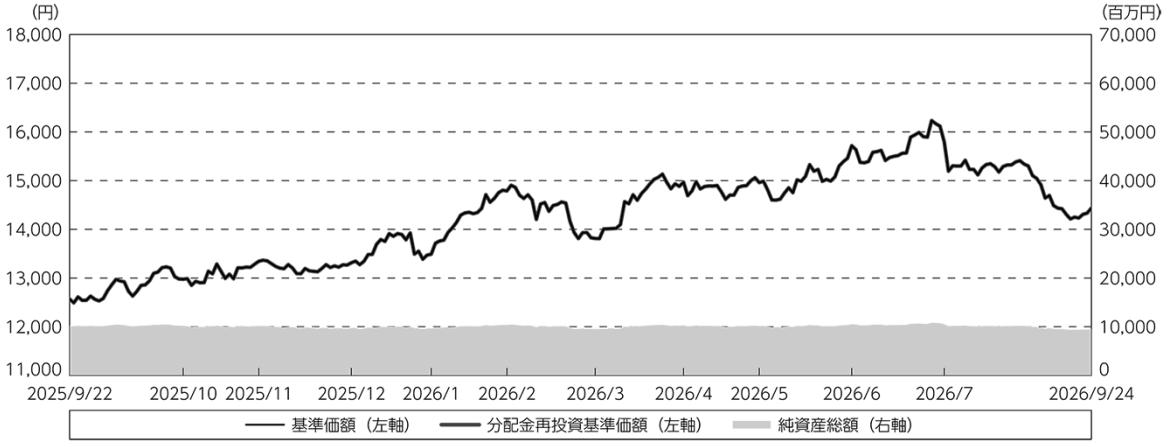
（注）基準価額は１万口当たり。
（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率を記載しております。

（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2025年９月23日～2026年９月24日）

期中の基準価額等の推移



期　首：12,569円
期　末：14,437円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：　14.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年９月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首12,569円でスタートした基準価額は、14,437円（分配後）で期末を迎え、期首比14.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、ファンドのリターンはプラスとなりました。国別では、主に香港や米国等への配分が上昇要因となった一方、オーストラリアやスペイン等への配分が下落要因となりました。セクター別では、ヘルスケアリートやデータセンターリートなどへの配分が主な上昇要因となった一方、不動産開発等への配分は振るいませんでした。そのほか、円が対米ドルで下落したことは、基準価額を押し上げる要因となりました。

投資環境

当期、世界の不動産株式およびリート市場は、上昇しました。

当期初から2025年末ごろまでは、前期末とほぼ横ばいの水準で推移しました。2026年１月に入ると、ハイパースケーラーによる人工知能（ＡＩ）関連の設備投資が引き続き発表され、主にデータセンターリートが牽引し、上昇しました。２月には、投資家がリスク選好姿勢を維持する中で、株式市場でグロース銘柄からバリュー銘柄へローテーションの動きが見られたこともプラス材料となり上昇を維持しました。３月に入ると、中東情勢の悪化によるインフレ再燃懸念から主要債券市場では金利が上昇し、金利感応度が高い不動産株式やリートにとってマイナス要因となり下落する局面もありましたが、その後、米国とイランによる対立激化を巡る懸念が和らいだことで、投資家のリスク選好姿勢は再び強まりました。５月から６月にかけては、原油価格や米国金利の動向に左右され、方向感が欠ける展開となりましたが、７月に入ると、株式市場ではグロース銘柄から割安感が相対的に高い銘柄に資金が流入する傾向もみられる中、上昇基調となりました。８月以降、インフレへの警戒感や米国の財政懸念が再び強まったことで金利は上昇基調となり、不動産株式およびリート市場は下落基調を辿り、期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンドにおいて、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ　クラスI 投資証券の運用について

2025年10月、住宅価格上昇が追い風になるとみて、エクイティ・ライフスタイル・プロパティーズ（米国の一戸建て住宅用リート）へ投資を行いました。米国の店舗用リートでは稼働率と賃料の改善を見込み、アカディア・リアルティとインベントラスト・プロパティーズを追加しました。11月、アメリカンタワー（米国の電波塔リート）とボノビア（ドイツの不動産運営会社）を全売却し、ＷＰカレイ（米国の各種リート）やウェアハウス・ド・ポゥ（ベルギーの工業用リート）等に投資を行いました。12月、ＵＭＨプロパティーズ（米国の一戸建て住宅用リート）へ投資を行いました。2026年１月、キャピタルランド（シンガポールの各種リート）を全売却し、東急リアル・エステート投資法人（日本のオフィスリート）等に資産を配分しました。２月、ペブルブルック・ホテル（米国のホテル・リゾートリート）に新規投資を行いました。４月、割安感からチャーター・ホール（オーストラリアの各種リート）へ投資を行った一方、利益悪化を懸念し、インゲニア・コミュニティーズ（オーストラリアの集合住宅用リート）を全売却しました。５月、米国の店舗用リートでは、安定した財務能力を評価し、アグリー・リアルティやリアルティ・インカムへ投資した一方、相対妙味からマセリッチの保有を削減しました。７月、高い配当利回りや割安感を背景にユーロコマーシャル・プロパティーズ（オランダの店舗用リート）へ投資した一方、中国事業への懸念からハンルン・プロパティーズ（香港の不動産運営会社）を売却しました。そのほか、当期間中、住宅市場の不透明感等を踏まえ、ライフスタイル・コミュニティ（オーストラリアの不動産開発）の保有を解消しました。

＜ファンドの主要投資対象におけるサステナビリティ基準適合比率について＞

ファンドの主要な投資対象ファンドである「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ　クラスI 投資証券」は、持続可能な投資を目的としています。これは、より環境に強く、革新的な都市とインフラ・ストラクチャーに貢献する投資です。この目的を確実にするために、投資運用会社は投資対象銘柄の選択において以下のプロセスによりサステナビリティ基準を適用します。

投資可能なユニバースは２段階においてサステナビリティ指標を用いて分析され、サステナビリティ評価が低い銘柄は除外されます。

－ステージ１では、独自のスコアリングにより、魅力的な都市に物件を保有する世界の不動産投資信託および不動産関連企業の株式等を投資ユニバースとして選定します。

－ステージ２では、投資ユニバースに含まれる個別銘柄に対して、ＥＳＧ分析およびバリュエーション分析を通じたボトムアップによる銘柄選択を実施します。ＥＳＧ評価が相対的に低い企業は除外されます。

投資運用会社は、かかるプロセスにより、ファンドの主要な投資対象ファンドの純資産総額90%以上の組入銘柄がサステナビリティ基準に適合することを確保します。

2025年９月23日から2026年９月24日までの報告期間中、ファンドの主要な投資対象ファンドは、上記のプロセスにより設定されたサステナビリティ基準を満たす投資可能なユニバースにのみ投資しました。

2026年９月24日現在、投資対象ファンドの純資産総額に対してシュローダーのサステナビリティ基準に適合した組入銘柄のエクスポージャーは98.8%となっています。

＜スチュワードシップ方針について＞

シュローダーは、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づく「建設的な対話」（エンゲージメント）、積極的な議決権行使などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、投資リターンの拡大を図る責任を有すると考えています。

伝統的な財務分析に加え、企業が環境、社会、ガバナンス（ＥＳＧ）に関するリスクにどの程度さらされているか、また、それをどのように管理しているか、を分析することは、適正な企業価値の理解、長期的に持続可能な利益を創出する能力の見極めという観点で非常に有益だと考えています。

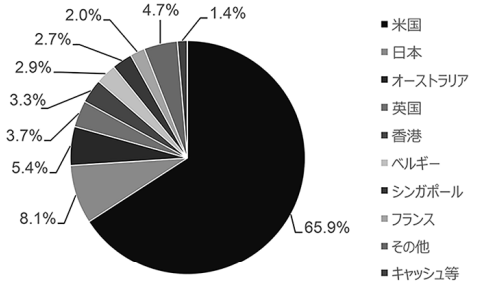
シュローダーのスチュワードシップ・コードに係わる取組み内容やエンゲージメントの実施例については、委託会社のホームページをご参照ください。

（https://www.schroders.com/ja-jp/jp/intermediary/about-us/stewardshipcode/）

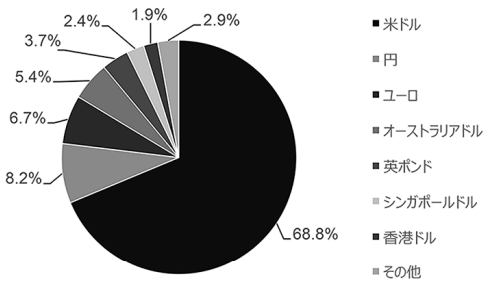
作成基準日：2026年8月31日

マザーファンドの主要投資対象である「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド　グローバル・シティーズ（◆）」の概要

■国／地域別組入比率



■通貨別組入比率



■ポートフォリオの特性値

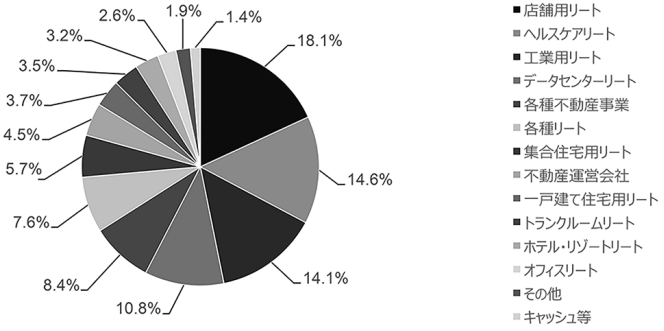
	ポートフォリオ
配当利回り	3.4%

・ 配当利回りは、過去1年の配当実績と株価から計算しており、上記はポートフォリオにおける平均値です。

■資産配分比率

	比率
リート	84.2%
株式	14.4%
キャッシュ等	1.4%
合計	100.0%

■業種別組入比率



※組入比率グラフについては、四捨五入により合計が100%にならないことがあります。

■組入上位10銘柄　（銘柄数：　63銘柄）

	銘柄名	国／地域	業種	投資比率
1	ウェルタワー	米国	ヘルスケアリート	8.3%
2	プロロジス	米国	工業用リート	6.4%
3	エクイニクス	米国	データセンターリート	5.7%
4	デジタル・リアルティ	米国	データセンターリート	4.7%
5	サイモン・プロパティ	米国	店舗用リート	3.9%
6	リアルティ・インカム	米国	店舗用リート	3.3%
7	パブリック・ストレージ	米国	トランクルームリート	3.0%
8	グッドマン	オーストラリア	工業用リート	2.9%
9	ベンタス	米国	ヘルスケアリート	2.5%
10	ヴィブマーク・レジデンシャル	米国	集合住宅用リート	2.2%

◆「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド　グローバル・シティーズ　クラスI投資証券」のマスターファンドを指します。
グラフや表における業種は、GICS(世界産業分類基準）の分類、国／地域別は、原則として当該銘柄が主に取引されている取引所の所在国に基づき、マスターファンドの投資運用会社が作成した分類により表記しております。なお、国／地域別、通貨別、業種別の組入比率および組入上位銘柄の各組入比率は、マスターファンドにおける純資産比です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項目	第６期 2025年９月23日～ 2026年９月24日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,437

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マクロ経済を巡る不確実性および金利動向は、引き続き短期的な市場変動要因になると考えています。しかし、世界の上場不動産市場のファンダメンタルズは引き続き堅調に推移しています。主要投資先の多くでは、賃貸市場の需給環境は良好で、空室率も低水準にあります。また、供給制約やテナント需要の改善が追い風となるセクターを中心に、各社からは引き続き賃料上昇が報告されています。

構造的な観点では、長期的な需要ドライバーが景気循環の影響を受けにくいセクターに最も魅力的な投資機会があると考えています。デジタル・インフラ分野では、人工知能（ＡＩ）関連投資の拡大を背景にデータセンター需要が過去最高水準に達しており、良好な事業環境が続いています。一方で、一部のオフィス、商業施設および地域特化型市場においても、良好な需給環境と経営陣による規律ある資本配分が追い風となっています。

ポートフォリオ全体では、健全な財務基盤、実績のある経営陣、そして様々な市場環境下でもキャッシュフロー成長を実現できるクオリティが高い企業への投資を継続しています。不動産ファンダメンタルズの改善、魅力的な相対バリュエーション、さらには長期的な構造的需要要因の組み合わせは、2026年後半にかけて世界の上場不動産市場を引き続き支えると考えています。特に重要な点として、さらなるマルチプル拡大ではなく、キャッシュフローの成長や規律ある資本配分、そして銘柄選択によって今後のリターンが左右されるようになると考えています。

○１万口当たりの費用明細

（2025年９月23日～2026年９月24日）

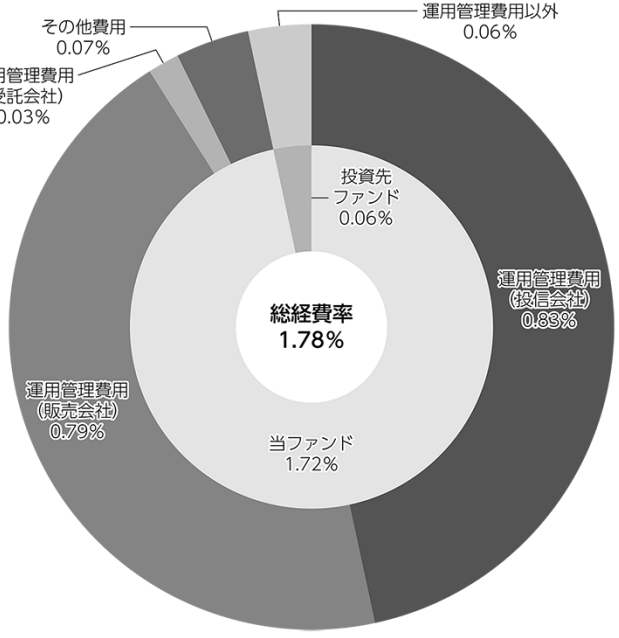
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	237	1.659	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(118)	(0.830)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
（販売会社）	(114)	(0.796)	・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（受託会社）	(5)	(0.033)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	11	0.075	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.013)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(9)	(0.061)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（ＬＥＩ：Legal Entity Identifier）登録費用等
合計	248	1.734	
期中の平均基準価額は、14,257円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**1.78**
①当ファンドの費用の比率	1.72
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	－
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年９月23日～2026年９月24日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンド	239,104	350,292	1,760,567	2,606,738

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年９月23日～2026年９月24日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年９月24日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンド	7,576,393	6,054,930	9,578,900

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2026年９月24日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンド	9,578,900	99.7
コール・ローン等、その他	24,686	0.3
投資信託財産総額	9,603,586	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。
（注）シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（13,612,851千円）の投資信託財産総額（14,056,674千円）に対する比率は96.8％です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝158.01円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年９月24日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,603,586,714
シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンド(評価額)	9,578,900,228
未収入金	24,686,486
(B) 負債	112,316,884
未払解約金	24,686,486
未払信託報酬	84,313,273
その他未払費用	3,317,125
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	9,491,269,830
元本	6,574,210,081
次期繰越損益金	2,917,059,749
(D) 受益権総口数	6,574,210,081口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	14,437円

[元本増減]

期首元本額	8,089,466,983円
期中追加設定元本額	262,256,063円
期中一部解約元本額	1,777,512,965円

○損益の状況 (2025年９月23日～2026年９月24日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 有価証券売買損益	1,379,055,592
売買益	1,582,308,133
売買損	△ 203,252,541
(B) 信託報酬等	△ 174,487,188
(C) 当期損益金(Ａ＋Ｂ)	1,204,568,404
(D) 前期繰越損益金	1,115,851,480
(E) 追加信託差損益金	596,639,865
(配当等相当額)	(72,160,245)
(売買損益相当額)	(524,479,620)
(F) 計(Ｃ＋Ｄ＋Ｅ)	2,917,059,749
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｆ＋Ｇ)	2,917,059,749
追加信託差損益金	596,639,865
(配当等相当額)	(72,161,586)
(売買損益相当額)	(524,478,279)
分配準備積立金	2,320,419,884

(注) 損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（891,204円）、費用控除後の有価証券等損益額（1,203,677,200円）、信託約款に規定する収益調整金（596,639,865円）および分配準備積立金（1,115,851,480円）より分配対象収益は2,917,059,749円（10,000口当たり4,437円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	0円

＜分配金について＞

・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配金落ち後の基準価額が個別元本（受益者のファンドの購入価額）と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

〈シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンド　第６期〉

【計算期間　2025年９月23日から2026年９月24日まで】

信　託　期　間	無期限
決　　算　　日	毎年９月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運　用　方　針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ　クラスＩ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ　クラスＩ投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組　入　制　限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数※		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率		
	円	%		%	%	百万円
２期(2022年９月20日)	11,104	5.9	666,678	9.1	97.5	20,501
３期(2023年９月20日)	11,123	0.2	661,828	△ 0.7	97.2	20,181
４期(2024年９月20日)	13,236	19.0	784,855	18.6	97.4	18,048
５期(2025年９月22日)	13,538	2.3	808,060	3.0	97.9	15,011
６期(2026年９月24日)	15,820	16.9	900,975	11.5	97.0	14,030

(注) 基準価額は１万口当たり。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。
参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index（税控除後配当込み）（円換算）です。

※FTSE EPRA NAREIT Developed indexは、世界の上場している不動産関連株式や不動産投資信託証券のパフォーマンスに追随するよう投資可能な市場で取引されている銘柄を基準に流動性やサイズ、収益性により選別された構成銘柄からなる指数で、European Public Real Estate Association（以下、EPRA）と共にFTSE Russellにより算出されています。ロンドン証券取引所グループとそのグループ企業*が本指数のライセンサーです（＊FTSE International Limited（LSEグループ）、EPRA、the National Association of Real Estate Investments Trusts（NAREIT）を含みます）。
FTSE RussellはLSEグループ企業の商標です。FTSEとRussellは関連するLSEグループ企業の登録商標、NAREITはNAREITの登録商標、EPRAはEPRAの登録商標で、それぞれ許可を受けた他のLSEグループ企業によって使われ、関連指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はライセンサーに帰属しております。ライセンサーは指数データまたは内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わず、本ファンドへの投資を促進、保証または推奨するものではありません。関係するLSEグループ企業の書面による同意がない限り、LSEグループ企業が提供する指数データの再配布は禁じられております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数※		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
（期　首）	円	%		%	%
2025年９月22日	13,538	－	808,060	－	97.9
９月末	13,607	0.5	812,489	0.5	98.1
10月末	14,002	3.4	833,740	3.2	98.6
11月末	14,418	6.5	863,070	6.8	98.7
12月末	14,406	6.4	858,857	6.3	98.0
2026年１月末	14,617	8.0	868,849	7.5	98.5
２月末	16,037	18.5	942,272	16.6	98.4
３月末	15,007	10.9	872,152	7.9	97.9
４月末	16,283	20.3	945,801	17.0	98.9
５月末	16,296	20.4	948,963	17.4	98.9
６月末	17,143	26.6	985,621	22.0	98.4
７月末	17,253	27.4	993,653	23.0	98.0
８月末	16,739	23.6	960,226	18.8	98.5
（期　末）					
2026年９月24日	15,820	16.9	900,975	11.5	97.0

（注）基準価額は１万口当たり。
（注）騰落率は期首比。

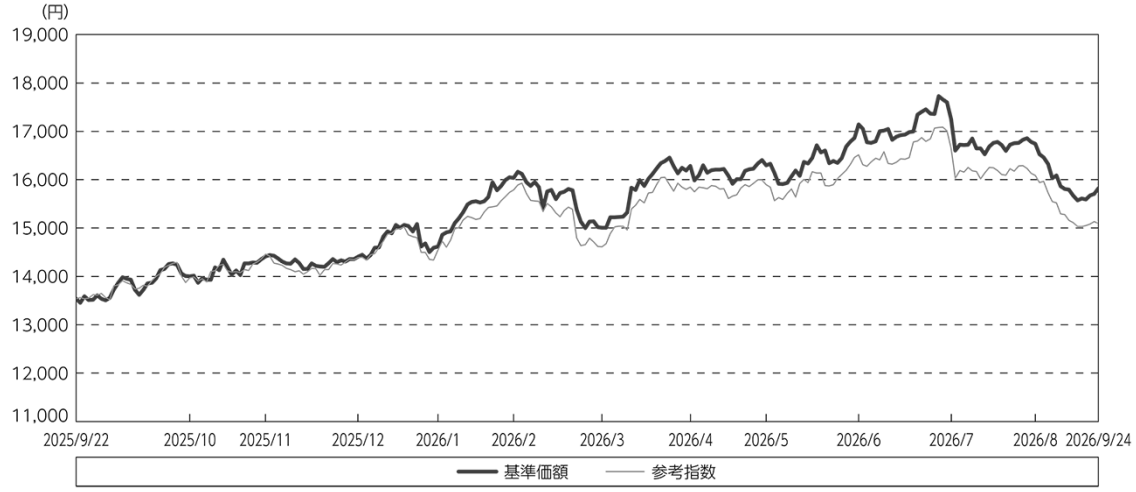
※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。
参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index（税控除後配当込み）（円換算）です。

※FTSE EPRA NAREIT Developed indexは、世界の上場している不動産関連株式や不動産投資信託証券のパフォーマンスに追随するよう投資可能な市場で取引されている銘柄を基準に流動性やサイズ、収益性により選別された構成銘柄からなる指数で、European Public Real Estate Association（以下、EPRA）と共にFTSE Russellにより算出されています。ロンドン証券取引所グループとそのグループ企業*が本指数のライセンサーです（*FTSE International Limited（LSEグループ）、EPRA、the National Association of Real Estate Investments Trusts（NAREIT）を含みます）。
FTSE RussellはLSEグループ企業の商標です。FTSEとRussellは関連するLSEグループ企業の登録商標、NAREITはNAREITの登録商標、EPRAはEPRAの登録商標で、それぞれ許可を受けた他のLSEグループ企業によって使われ、関連指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はライセンサーに帰属しております。ライセンサーは指数データまたは内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わず、本ファンドへの投資を促進、保証または推奨するものではありません。関係するLSEグループ企業の書面による同意がない限り、LSEグループ企業が提供する指数データの再配布は禁じられております。

○運用経過

（2025年９月23日～2026年９月24日）

期中の基準価額等の推移



（注）参考指数は、期首（2025年９月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）当ファンドの参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index（税控除後配当込み）（円換算）です。

○基準価額の主な変動要因

期首13,538円でスタートした基準価額は、15,820円で期末を迎え、期首比16.9%の上昇となりました。一方、参考指数であるFTSE EPRA NAREIT Developed index（税控除後配当込み）（円換算）は、11.5%の上昇で、当ファンドは、参考指数を5.4%上回りました。

当期、ファンドのリターンはプラスとなりました。国別では、主に香港や米国等への配分が上昇要因となった一方、オーストラリアやスペイン等への配分が下落要因となりました。セクター別では、ヘルスケアリートやデータセンターリートなどへの配分が主な上昇要因となった一方、不動産開発等への配分は振るいませんでした。そのほか、円が対米ドルで下落したことは、基準価額を押し上げる要因となりました。

投資環境

当期、世界の不動産株式およびリート市場は、上昇しました。

当期初から2025年末ごろまでは、前期末とほぼ横ばいの水準で推移しました。2026年１月に入ると、ハイパースケーラーによる人工知能（ＡＩ）関連の設備投資が引き続き発表され、主にデータセンターリートが牽引し、上昇しました。２月には、投資家がリスク選好姿勢を維持する中で、株式市場でグロース銘柄からバリュー銘柄へローテーションの動きが見られたこともプラス材料となり上昇を維持しました。３月に入ると、中東情勢の悪化によるインフレ再燃懸念から主要債券市場では金利が上昇し、金利感応度が高い不動産株式やリートにとってマイナス要因となり下落する局面もありましたが、その後、米国とイランによる対立激化を巡る懸念が和らいだことで、投資家のリスク選好姿勢は再び強まりました。５月から６月にかけては、原油価格や米国金利の動向に左右され、方向感が欠ける展開となりましたが、７月に入ると、株式市場ではグロース銘柄から割安感が相対的に高い銘柄に資金が流入する傾向もみられる中、上昇基調となりました。８月以降、インフレへの警戒感や米国の財政懸念が再び強まったことで金利は上昇基調となり、不動産株式およびリート市場は下落基調を辿り、期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

2025年10月、住宅価格上昇が追い風になるとみて、エクイティ・ライフスタイル・プロパティーズ（米国の一戸建て住宅用リート）へ投資を行いました。米国の店舗用リートでは稼働率と賃料の改善を見込み、アカディア・リアルティとインベントラスト・プロパティーズを追加しました。11月、アメリカンタワー（米国の電波塔リート）とボノビア（ドイツの不動産運営会社）を全売却し、ＷＰカレイ（米国の各種リート）やウェアハウス・ド・ポゥ（ベルギーの工業用リート）等に投資を行いました。12月、ＵＭＨプロパティーズ（米国の一戸建て住宅用リート）へ投資を行いました。2026年１月、キャピタルランド（シンガポールの各種リート）を全売却し、東急リアル・エステート投資法人（日本のオフィスリート）等に資産を配分しました。２月、ペブルブルック・ホテル（米国のホテル・リゾートリート）に新規投資を行いました。４月、割安感からチャーター・ホール（オーストラリアの各種リート）へ投資を行った一方、利益悪化を懸念し、インゲニア・コミュニティーズ（オーストラリアの集合住宅用リート）を全売却しました。５月、米国の店舗用リートでは、安定した財務能力を評価し、アグリー・リアルティやリアルティ・インカムへ投資した一方、相対妙味からマセリッチの保有を削減しました。７月、高い配当利回りや割安感を背景にユーロコマーシャル・プロパティーズ（オランダの店舗用リート）へ投資した一方、中国事業への懸念からハンルン・プロパティーズ（香港の不動産運営会社）を売却しました。そのほか、当期間中、住宅市場の不透明感等を踏まえ、ライフスタイル・コミュニティ（オーストラリアの不動産開発）の保有を解消しました。

＜ファンドの主要投資対象におけるサステナビリティ基準適合比率について＞

ファンドの主要な投資対象ファンドである「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ　クラスI 投資証券」は、持続可能な投資を目的としています。これは、より環境に強く、革新的な都市とインフラ・ストラクチャーに貢献する投資です。この目的を確実にするために、投資運用会社は投資対象銘柄の選択において以下のプロセスによりサステナビリティ基準を適用します。

投資可能なユニバースは２段階においてサステナビリティ指標を用いて分析され、サステナビリティ評価が低い銘柄は除外されます。

－ステージ１では、独自のスコアリングにより、魅力的な都市に物件を保有する世界の不動産投資信託および不動産関連企業の株式等を投資ユニバースとして選定します。

ーステージ２では、投資ユニバースに含まれる個別銘柄に対して、ＥＳＧ分析およびバリュエーション分析を通じたボトムアップによる銘柄選択を実施します。ＥＳＧ評価が相対的に低い企業は除外されます。

投資運用会社は、かかるプロセスにより、ファンドの主要な投資対象ファンドの純資産総額90%以上の組入銘柄がサステナビリティ基準に適合することを確保します。

2025年９月23日から2026年９月24日までの報告期間中、ファンドの主要な投資対象ファンドは、上記のプロセスにより設定されたサステナビリティ基準を満たす投資可能なユニバースにのみ投資しました。

2026年９月24日現在、投資対象ファンドの純資産総額に対してシュローダーのサステナビリティ基準に適合した組入銘柄のエクスポージャーは98.8%となっています。

＜スチュワードシップ方針について＞

シュローダーは、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づく「建設的な対話」（エンゲージメント）、積極的な議決権行使などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、投資リターンの拡大を図る責任を有すると考えています。

伝統的な財務分析に加え、企業が環境、社会、ガバナンス（ＥＳＧ）に関するリスクにどの程度さらされているか、また、それをどのように管理しているか、を分析することは、適正な企業価値の理解、長期的に持続可能な利益を創出する能力の見極めという観点で非常に有益だと考えています。

シュローダーのスチュワードシップ・コードに係わる取組み内容やエンゲージメントの実施例については、委託会社のホームページをご参照ください。

（https://www.schroders.com/ja-jp/jp/intermediary/about-us/stewardshipcode/）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークは設けておりません。

○今後の運用方針

マクロ経済を巡る不確実性および金利動向は、引き続き短期的な市場変動要因になると考えています。しかし、世界の上場不動産市場のファンダメンタルズは引き続き堅調に推移しています。主要投資先の多くでは、賃貸市場の需給環境は良好で、空室率も低水準にあります。また、供給制約やテナント需要の改善が追い風となるセクターを中心に、各社からは引き続き賃料上昇が報告されています。

構造的な観点では、長期的な需要ドライバーが景気循環の影響を受けにくいセクターに最も魅力的な投資機会があると考えています。デジタル・インフラ分野では、人工知能（ＡＩ）関連投資の拡大を背景にデータセンター需要が過去最高水準に達しており、良好な事業環境が続いています。一方で、一部のオフィス、商業施設および地域特化型市場においても、良好な需給環境と経営陣による規律ある資本配分が追い風となっています。

ポートフォリオ全体では、健全な財務基盤、実績のある経営陣、そして様々な市場環境下でもキャッシュフロー成長を実現できるクオリティが高い企業への投資を継続しています。不動産ファンダメンタルズの改善、魅力的な相対バリュエーション、さらには長期的な構造的需要要因の組み合わせは、2026年後半にかけて世界の上場不動産市場を引き続き支えると考えています。特に重要な点として、さらなるマルチプル拡大ではなく、キャッシュフローの成長や規律ある資本配分、そして銘柄選択によって今後のリターンが左右されるようになると考えています。

○１万口当たりの費用明細

（2025年９月23日～2026年９月24日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	0	0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（ＬＥＩ：Legal Entity Identifier）登録費用等
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、15,484円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2025年９月23日～2026年９月24日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI	4,677	1,317	79,327	23,206

（注）金額は受渡代金。
（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年９月23日～2026年９月24日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年９月24日現在）

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額		比率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）		口	口	千米ドル	千円	%
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI		1	1	0.142	22	0.0
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI		355,191	280,541	86,148	13,612,378	97.0
合計	口数・金額	355,192	280,542	86,148	13,612,401	
	銘柄数＜比率＞	2	2	－	＜97.0%＞	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

（2026年９月24日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	13,612,401	96.8
コール・ローン等、その他	444,273	3.2
投資信託財産総額	14,056,674	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。
（注）当期末における外貨建純資産（13,612,851千円）の投資信託財産総額（14,056,674千円）に対する比率は96.8％です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝158.01円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年９月24日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	**14,056,674,932**
コール・ローン等	444,260,269
投資証券(評価額)	13,612,401,288
未収利息	13,375
(B) 負債	**25,712,408**
未払解約金	25,712,408
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**14,030,962,524**
元本	8,869,407,653
次期繰越損益金	5,161,554,871
(D) 受益権総口数	**8,869,407,653口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**15,820円**

［元本増減］

期首元本額	11,088,385,964円
期中追加設定元本額	326,536,317円
期中一部解約元本額	2,545,514,628円

［当マザーファンドの当期末における元本の内訳］

シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・ファンド（資産成長型）	6,054,930,612円
シュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・ファンド（予想分配金提示型）	2,814,477,041円

○損益の状況

（2025年９月23日～2026年９月24日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	**1,602,775**
受取利息	1,602,775
(B) 有価証券売買損益	**2,327,735,533**
売買益	2,332,741,477
売買損	△ 5,005,944
(C) 保管費用等	**△ 63,900**
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	**2,329,274,408**
(E) 前期繰越損益金	**3,922,890,632**
(F) 追加信託差損益金	**163,086,314**
(G) 解約差損益金	**△1,253,696,483**
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	**5,161,554,871**
次期繰越損益金(Ｈ)	**5,161,554,871**

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈参考〉マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でシュローダー・グローバル・リートＥＳＧフォーカス・マザーファンドが保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ　クラスＩ投資証券」の運用状況

〈ファンドの概要〉

形態		ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て
主な投資対象		投資運用会社がサステナブルな投資先であると考える世界の不動産関連株式および株式関連証券
運用の基本方針および主な投資制限		投資運用会社がサステナブルな投資先であると考える世界の不動産関連株式および株式関連証券への投資を通じて元本成長とFTSE EPRA NAREIT Developed index（税控除後配当込み、米ドルベース）を中長期で上回る（費用控除後）収益確保を目指します。 ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。 ■ファンドはアクティブ運用され、その資産をサステナブル投資に振り向けます。また、短期金融資産への投資や現金の保有のほか、リスクの抑制および資産の効率的な運用のためのデリバティブ取引など、投資運用会社がサステナビリティ基準に基づいて中立であるとみなした投資を行います。 ■ファンドは投資運用会社のウェブページ（https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/fund-centre）に掲げる「サステナビリティ関連開示」に記載される上限を超えて特定の活動、業界または発行体グループへの直接投資は行いません。 ■ファンドは投資運用会社の投資基準に定められた通り、環境や社会に重大な悪影響を与えず優れたガバナンスを実践する企業に投資します。 ■投資運用会社はファンドが行なうサステナビリティ問題に関する弱点分野を特定する試みに対して投資対象企業と建設的な対話をすることもあります。投資運用会社のサステナビリティや投資対象会社との建設的な対話の方法に関しての詳細は投資運用会社のウェブページ（https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/what-we-do/sustainable-investing/our-sustainable-investment-policies-disclosures-voting-reports/disclosures-and-statements/）で入手可能です。 ■ファンドは資産の少なくとも90%を、世界のサステナブルな不動産関連株式および株式関連証券へ投資します。経済力、充実した交通インフラ、質の高い教育機関、革新的なビジネスコミュニティといった好ましい特徴を備えているものと投資運用会社が評価する世界の主要都市に資産を保有し収益の大部分を不動産投資関連事業から得ている企業を中心に投資を行います。 ■ファンドは資産の1/3以下の範囲で、直接または間接的に世界の不動産関連株式や株式関連証券以外の投資証券（他の資産クラスを含む）、国、地域、業種、通貨、投資ファンド、ワラント債、短期金融商品に投資し、現金を保有することがあります。 ■リスクの抑制および資産の効率的な運用のためデリバティブ取引を行うことがあります。
投資運用報酬		ありません。
管理報酬等		ファンドの純資産総額に対して年率0.06%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。
決算日		12月31日
設定日		2005年10月31日
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保管会社	Ｊ．Ｐ．モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

※投資対象ファンドであるSISF グローバル・シティーズ　クラスＩ投資証券（ファンド）は持続可能な投資を行うという投資目的（欧州サステナブル投資開示規則９条：Article 9 SFDR）を有します。この投資目的を有するファンドは、その結果として一部の企業、業界、セクターに対するエクスポージャーが限られる可能性があり、投資運用会社により選定されたサステナビリティ基準に合致しない一定の投資機会を見送ったり、特定の保有銘柄を処分する可能性があります。持続可能な投資の構成について投資者間で異なる見解を有する可能性があるため、ファンドは特定の投資者の信念および価値を反映しない企業にも投資する可能性があります。

（注）以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・シティーズ

Statement of Operations for the Year Ended 31 December 2025	Schroder ISF Global Cities USD
NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR$	**605,610,390**
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	18,952,185
Interest income from investments, net of withholding taxes	–
Interest on swap contracts	–
Bank interest	370,586
Other income	–
TOTAL INCOME	**19,322,771**
EXPENSES	
Management fees	2,963,964
Administration fees	722,727
Taxe d'abonnement	171,671
Depositary fees	71,821
Distribution fees	131,765
Bank and other interest expenses	–
Interest on swap contracts	–
Operating expenses	107,525
TOTAL EXPENSES	**4,169,473**
Less: Expense subsidy	–
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	**15,153,298**
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	(15,976,446)
Options contracts	–
Financial futures contracts	–
Forward currency exchange contracts	5,182,935
Swaps contracts	–
Currency exchange	18,922
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	**(10,774,589)**
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	57,413,008
Options contracts	–
Financial futures contracts	–
Forward currency exchange contracts	298,542
Swaps contracts	–
Currency exchange	7,387
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	**57,718,937**
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	**62,097,646**
Subscriptions	156,842,408
Redemptions	(181,578,379)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	**(24,735,971)**
Dividend distributions	(529,319)
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	**642,442,746**

【上位10銘柄】

（2025年12月31日現在）

	銘柄名	国・地域	業種	比率（%）
1	ウェルタワー	米国	ヘルスケアリート	7.7
2	エクイニクス	米国	データセンターリート	5.6
3	プロロジス	米国	工業用リート	5.4
4	サイモン・プロパティ	米国	店舗用リート	4.3
5	デジタル・リアルティ	米国	データセンターリート	3.8
6	リアルティ・インカム	米国	店舗用リート	3.4
7	グッドマン	オーストラリア	工業用リート	3.0
8	ベンタス	米国	ヘルスケアリート	2.9
9	パブリック・ストレージ	米国	トランクルームリート	2.4
10	三井不動産	日本	各種不動産事業	2.2
			銘柄数	**61**

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド　ドル・リクイディティ クラスＩ投資証券」の運用状況

〈ファンドの概要〉

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	米ドル建ての短期金融資産	
運用の基本方針および主な投資制限	ファンドはアクティブ運用され、主として米ドル建ての短期金融資産（S&Pグローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上）への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること（付随する金融商品を考慮にいれる）、もしくは採用金利が少なくとも市況に応じて年次で調整され残存期間が２年以内であるものを前提とします。 ※元本の保全と流動性の確保を保証するものではありません。 ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。 ■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。 ■現金を保有し、金融機関へ預金することがあります。	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2002年７月４日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク
	保管会社	Ｊ．Ｐ．モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

（注）以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド　ドル・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

（注）以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド　ドル・リクイディティ

Statement of Operations for the Year Ended 31 December 2025	Schroder ISF US Dollar Liquidity USD
NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR$	**582,562,390**
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	–
Interest income from investments, net of withholding taxes	21,942,631
Interest on swap contracts	–
Bank interest	2,094,897
Other income	–
TOTAL INCOME	**24,037,528**
EXPENSES	
Management fees	835,735
Administration fees	277,127
Taxe d'abonnement	57,451
Depositary fees	36,512
Distribution fees	–
Bank and other interest expenses	–
Interest on swap contracts	–
Operating expenses	99,396
TOTAL EXPENSES	**1,306,221**
Less: Expense subsidy	–
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	**22,731,307**
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	5,896
Options contracts	–
Financial futures contracts	–
Forward currency exchange contracts	438
Swaps contracts	–
Currency exchange	(142,661)
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	**(136,327)**
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(24,129)
Options contracts	–
Financial futures contracts	–
Forward currency exchange contracts	48
Swaps contracts	–
Currency exchange	4
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	**(24,077)**
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	**22,570,903**
Subscriptions	498,144,639
Redemptions	(542,298,188)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	**(44,153,549)**
Dividend distributions	–
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	**560,979,744**

Portfolio of Investments of the Year Ended 31 December 2025

Investments	Currency	Nominal Value	MarketValueUSD	% ofNet Assets
Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing				
Bonds				
Financials				
US Treasury Bill 0% 08/01/2026	USD	36,361,000	36,339,834	6.49
US Treasury Bill 0% 26/02/2026	USD	33,750,000	33,567,050	5.98
US Treasury Bill 0% 12/03/2026	USD	33,798,000	33,568,447	5.98
			103,475,331	**18.45**
Total Bonds			**103,475,331**	**18.45**
Total Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing			**103,475,331**	**18.45**
Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market				
Bonds				
Financials				
US Treasury Bill 0% 02/01/2026	USD	44,817,000	44,817,000	7.98
US Treasury Bill 0% 05/02/2026	USD	38,174,000	38,046,354	6.78
US Treasury Bill 0% 17/03/2026	USD	32,500,000	32,264,931	5.75
US Treasury Bill 0% 28/05/2026	USD	33,606,000	33,128,959	5.91
US Treasury Bill 0% 18/06/2026	USD	36,990,000	36,388,774	6.49
			184,646,018	**32.91**
Total Bonds			**184,646,018**	**32.91**
Commercial Papers				
Financials				
BPCE SA 0% 25/03/2026	USD	25,000,000	24,780,318	4.42
DNB Bank ASA 0% 15/05/2026	USD	25,000,000	24,651,473	4.39
Mizuho Bank Ltd. 0% 12/01/2026	USD	25,000,000	24,968,669	4.46
MUFG Bank Ltd. 0% 22/04/2026	USD	25,000,000	24,704,290	4.40
Santander UK plc 0% 03/02/2026	USD	25,000,000	24,911,380	4.44
Standard Chartered Bank 0% 23/02/2026	USD	25,000,000	24,856,300	4.43
Toronto-Dominion Bank 0% 12/01/2026	USD	25,000,000	24,968,167	4.45
Westpac Banking Corp. 0% 28/05/2026	USD	25,000,000	24,619,543	4.39
			198,460,140	**35.38**
Industrials				
Honeywell International, Inc. 0% 05/01/2026	USD	25,000,000	24,986,955	4.45
			24,986,955	**4.45**
Total Commercial Papers			**223,447,095**	**39.83**
Total Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market			**408,093,113**	**72.74**
Total Investments			**511,568,444**	**91.19**
Cash			**49,676,405**	**8.86**
Other assets/(liabilities)			**(265,105)**	**(0.05)**
Total Net Assets			**560,979,744**	**100.00**